

第 3 期県立高校将来構想答申（案） 新旧対照表

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第 1 章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>① 県立高校教育の在り方</p> <p>ア 学力の向上 ー学び続けるための基礎力づくりー</p> <p>(ウ) 人間関係を構築する力の育成</p> <p>コミュニケーション能力や自省的な態度、自尊感情等を育成するため、人間関係を構築する基礎力の育成、<u>学校行事やホームルーム活動、生徒会活動の充実</u>、部活動の促進、みやぎアドベンチャープログラム（MAP）（※）、いじめ問題などへの取組を強化しました。</p>	<p>第 1 章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>① 県立高校教育の在り方</p> <p>ア 学力の向上 ー学び続けるための基礎力づくりー</p> <p>(ウ) 人間関係を構築する力の育成</p> <p>コミュニケーション能力や自省的な態度、自尊感情等を育成するため、人間関係を構築する基礎力の育成、<u>ホームルーム活動や生徒会活動における話合いの充実</u>、部活動の促進、みやぎアドベンチャープログラム（MAP）（※）、いじめ問題などへの取組を強化しました。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>コミュニケーション能力は話合いの充実によりできるものではなく、学校行事などに参加し活動したことで出来ていくと考えるので、「学校行事」という言葉も入れ、それを含めた活動の充実としてはどうか。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>「学校行事」の文言を加え、「学校行事やホームルーム活動、生徒会活動の充実」と修正します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p><b>2 高校教育を取り巻く現状と課題</b></p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>④ 不登校生徒や中途退学者の<u>状況</u></p> <p>（略）</p> <p>そのため、高校と中学校・特別支援学校・地域の保健福祉部門等との連携を強化し、教育相談体制を拡充するとともに、生徒一人一人の自己肯定感の涵養や自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要です。加えて、定時制・通信制課程については、<u>不登校経験者や中途退学者を始めとする</u>全日制課程からの<u>転・編入学者</u>など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加していることを踏まえた在り方を検討していく必要があります。</p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p><b>2 高校教育を取り巻く現状と課題</b></p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>④ 不登校生徒や中途退学者への<u>対応</u></p> <p>（略）</p> <p>そのため、高校と中学校・特別支援学校・地域の保健福祉部門等との連携を強化し、教育相談体制を拡充するとともに、生徒一人一人の自己肯定感の涵養や自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要です。加えて、定時制・通信制課程については、<u>不登校・中途退学者や</u>全日制課程からの<u>転入学者</u>など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加していることを踏まえた在り方を検討していく必要があります。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの語尾について文言整理が必要ではないか。</li> <li>・退学してからの編入を加え、転・編入となるのではないか。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの統一化を図り、「③不登校生徒や中途退学者の状況」と修正します。</li> <li>・文言を整理するとともに、「転・編入学者」に修正します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p><b>2 高校教育を取り巻く現状と課題</b></p> <p>(2) 県立高校の現状と課題</p> <p>⑤ 「新学習指導要領」<u>の実施</u></p> <p>平成31年度から先行実施され、平成34年度から年次進行での実施となる「新学習指導要領」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善や、「カリキュラム・マネジメント」（※）の推進等が求められています。<u>知識・技能の習得だけでなく思考力・判断力・表現力等を身に付け、学びに向かう力等を育成する観点から、</u>本県においても、適切に対応する必要があります。</p> <p>(略)</p> <p>※「カリキュラム・マネジメント」…各学校の教育目標の実現に向け、生徒や地域の実情等を踏まえ<u>総合的に編成した教育課程を実施・評価・改善することや、「社会に開かれた教育課程」の実現等を効果的に組み合わせ、各学校の教育活動や組織運営の在り方を不断に見直し、改善すること。</u></p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p><b>2 高校教育を取り巻く現状と課題</b></p> <p>(2) 県立高校の現状と課題</p> <p>⑤ 「新学習指導要領」<u>への対応</u></p> <p>平成31年度から先行実施され、平成34年度から年次進行での実施となる「新学習指導要領」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善や、<u>学校の教育目標の実現に向け、教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルである</u>「カリキュラム・マネジメント」（※）の推進等が求められており、本県においても、適切に対応する必要があります。</p> <p>(略)</p> <p>※「カリキュラム・マネジメント」…学校の教育目標の実現に向け、生徒や地域の実態を踏まえ、<u>教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルを計画的・組織的に推進していくこと。</u></p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの語尾について文言整理が必要ではないか。      ・カリキュラム・マネジメントの説明が※と本文で重複している。</li> <li>・少しあっさりしすぎている。将来構想という観点からもう少し深めて書いた方がよい。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルの統一化を図り、「『新学習指導要領』の実施」と修正します。      ・本文中のカリキュラム・マネジメントの説明部分を削除します。</li> <li>・「新学習指導要領」の対応への視点を明確にするため、「知識・技能の習得だけでなく思考力・判断力・表現力等を身に付け、学びに向かう力等を育成する観点から」と追加します。</li> <li>・P12のカリキュラム・マネジメントの記載内容の修正に合わせて、用語の意味をより明確にするため説明文を修正します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第2章 新たな県立高校将来構想の策定について</p> <p><b>2 構想の基本的な考え方</b></p> <p>（略）</p> <p>このような状況を踏まえて、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力，課題解決能力等を含めた確かな学力，豊かな人間性，<u>健やかな体</u>を持ち，国際社会の中で活躍できる人材の育成等に努めるとともに，生徒一人一人の「志」の実現に向けて充実した高校生活を送ることができるよう，様々な社会の変化に対応した高校づくりを目指します。</p> <p>（以下略）</p>	<p>第2章 新たな県立高校将来構想の策定について</p> <p><b>2 構想の基本的な考え方</b></p> <p>（略）</p> <p>このような状況を踏まえて、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力，課題解決能力等を含めた確かな学力，豊かな人間性<u>や社会性</u>を持ち，国際社会の中で活躍できる人材の育成等に努めるとともに，生徒一人一人の「志」の実現に向けて充実した高校生活を送ることができるよう，様々な社会の変化に対応した高校づくりを目指します。</p> <p>（以下略）</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>「確かな学力」，「豊かな人間性」と生きる力の3本柱のうち2本が書いてあり，「健やかな体」が抜けている。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>生きる力の3本柱を採用し「健やかな体」を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</b></p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>① 志教育の更なる推進</p> <p>小・中・高等学校・特別支援学校の全時期を通じ、<u>社会的存在としての人間の生き方の観点を重視し、社会の中で自分が出来ることや果たすべき役割や、その実現のために必要な取組などについて深く考えさせる志教育を一層推進します。特に高等学校は、社会に出る直前の教育段階でもあり、学校の内外において社会との結びつきを強めるような教育活動が求められていることから、</u>インターンシップ等の体験的な学習を通して社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育成<u>するとともに、</u>他者と協働しながら、より良い社会づくりに参画するために必要な資質能力等を育成するシチズンシップ教育を推進し、生徒の志を育みます。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</b></p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>① 志教育の更なる推進</p> <p>小・中・高等学校・特別支援学校の全時期を通じ<u>た志教育を一層推進し、</u>インターンシップ等の体験的な学習を通して社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育成<u>します。また、</u>他者と協働しながら、より良い社会づくりに参画するために必要な資質能力等を育成するシチズンシップ教育を推進し、生徒の志を育みます。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>志教育について職業的自立やキャリア教育の観点からでなく、全人教育の観点から強く書き込んでよいのではないかと。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小・中・高等学校・特別支援学校の全時期を通じた志教育の趣旨を明確にするため、「社会的存在としての人間の生き方の観点を重視し、社会の中で自分が出来ることや果たすべき役割や、その実現のために必要な取組などについて深く考えさせる志教育」と修正します。</li> <li>キャリア教育やシチズンシップ教育については、高等学校段階において取り組む必要があることを明確にするため、「特に高等学校は、社会に出る直前の教育段階でもあり、学校の内外において社会との結びつきを強めるような教育活動が求められていることから、」を追加します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>④ 課題解決能力の育成</p> <p>社会が必要とする人材を育てるという視点に立った<u>教育内容や方法を検討・実施し、主体的・創造的に学習に取り組む態度を身に付けるため、課題を設定する力、学びの手段としての</u>ICTを適切に活用し必要な情報を収集・判断・処理する力、多様な価値観を持つ人々と協働し合意形成を図るコミュニケーション能力、主体的に解決に導くリーダーシップ、困難な課題にも果敢に粘り強く挑むチャレンジする意欲などを育成します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>④ 課題解決能力の育成</p> <p>社会が必要とする人材を育てるという視点に立った<u>教育システムや教育内容</u>を検討・実施し、<u>創造的な課題発見・解決のため、</u>ICTを適切に活用し必要な情報を収集・判断・処理する力、多様な価値観を持つ人々と協働し合意形成を図るコミュニケーション能力、主体的に解決に導くリーダーシップ、困難な課題にも果敢に粘り強く挑むチャレンジする意欲などを育成します。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決能力について「創造的な課題発見・解決のため」だけなのか整理した方がよい。</li> <li>・課題発見・解決のためICTを使わなくてはならないような書きぶりであり、あくまでも手段としてのICTだということを示した方がよい。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決能力の育成の目的及び文言を整理するとともに、育成する力に「課題を設定する力」を追加します。</li> <li>・ICTを適切に活用し必要な情報を収集・判断・処理する力に「学びの手段としての」を追加します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑤ 教科指導におけるICT活用の推進</p> <p><u>生徒の「確かな学力」を育成するため</u>、ICTを活用して授業を行う環境を早期に整備<u>するとともに</u>、教科指導における活用を段階的・発展的に進める取組である「MIYAGI Style」（※）により、ICT機器を効果的な場面で活用し、従来の指導法と併用しながら授業を展開します。また、特別支援教育において障害を補うツールとしてICTを活用することにより、障害のある児童生徒が個性を伸ばしながら、自立と社会参加を促す「@MIYAGI Style」（※）を推進します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑤ 教科指導におけるICT活用の推進</p> <p>ICTを活用して授業を行う環境を早期に整備<u>し</u>、教科指導における活用を段階的・発展的に進める取組である「MIYAGI Style」（※）により、ICT機器を効果的な場面で活用し、従来の指導法と併用しながら授業を展開します。また、特別支援教育において障害を補うツールとしてICTを活用することにより、障害のある児童生徒が個性を伸ばしながら、自立と社会参加を促す「@MIYAGI Style」（※）を推進します。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育について吟味する内容を入れてもよいのではないか。</li> <li>ICTについて優先すべきことやツールとしての教材の方向性を具体的にした方がよい。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>教科指導におけるICT活用の目的を明確にするため、「生徒の『確かな学力』を育成するため」を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑦ <b>防災教育の推進</b></p> <p>東日本大震災の経験・教訓を踏まえ、<u>自らの身を守る力、知識を備え行動する力、地域の安全に貢献する心等の自助・共助・公助の力と心を育成します。また、科学的な視点から防災・減災を考える教育を実践し、将来国内外で発生する災害から多くの命と暮らしを守ることができる人材を育成し、震災から学んだ教訓を風化させないよう、次世代に伝承していくための取組を推進します。</u></p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑦ <b>防災教育・安全教育の推進</b></p> <p>東日本大震災の経験・教訓を踏まえ、<u>地域の特性や学校の実情等に</u>応じ、<u>地域に根差した学校安全教育を推進し、自らの身を守る力、知識を備え行動する力、地域の安全に貢献する心、安全安心な社会づくりに貢献する心等の自助・共助・公助の力と心を育成します。</u></p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>一般的な防災教育に加えて、震災の経験を後世に伝える取組やそのような人材を育成するなども文言として加えてはどうか。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県ならではの視点を明確にするためタイトルを「防災教育の推進」と変更します。</li> <li>県全体で推進する防災教育に加え、多賀城高校災害科学科において取り組んでいる内容を追加します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑧ カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>国際教育や防災教育等の様々な教育内容を効率的かつ効果的に<u>実施し、生徒や地域の実情等を踏まえて、各学校の教育目標を達成するため、教科横断的な視点の導入や、教育課程の改善を図るためのPDCAサイクルの確立、地域等の人的・物的資源の活用を効果的に組み合わせるなど、教育活動や組織運営を改善することで、「社会に開かれた教育課程」を実現し、</u>生徒の資質能力の育成を図ります。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑧ カリキュラム・マネジメントの推進</p> <p>国際教育や防災教育等の様々な教育内容を効率的かつ効果的に<u>実現させるため、各学校において教科横断的な視点等でのカリキュラム・マネジメントの理念を取り入れ、</u>生徒の資質能力の育成を図ります。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、効果の測定という観点から学力を上げることだけに教育が特化し、全人教育という部分が抜けてしまう可能性があるのではないか。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>カリキュラム・マネジメントの推進の目的を整理するとともに、カリキュラム・マネジメントで実施すべき内容を明確にするため、「教科横断的な視点の導入」のほか、「教育課程改善のPDCAサイクルの確立」、「人的・物的資源の活用」の三つの視点を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑨ 部活動の質的充実</p> <p>部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであるという認識の下、スポーツや文化等に親しませ、<u>学ぶ意欲の向上や責任感、連帯感等の育成</u>を図ります。また、<u>「部活動での指導ガイドライン」等を踏まえ、具体的な指導の在り方や活動内容・方法について見直し、外部指導者等も活用しながら研究を進め、研修等を通して科学的な根拠に基づいた適切な指導を推進します。</u></p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑨ 部活動の質的充実</p> <p>部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであるという認識の下、スポーツや文化等に親しませ、<u>学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等</u>を図ります。また、<u>部活動の具体的な指導の在り方、内容や方法についての必要な検討、外部指導者の導入等に関して見直し、創意工夫、改善、研究を進め、科学的な根拠に基づいた適切で効果的な指導を行う等、「部活動での指導ガイドライン」に示した内容を着実に実施します。</u></p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外部指導者の導入等に関して見直し」とあるが、どの方向性を見直しなのか分からない。</li> <li>・「科学的な根拠に基づいた」と明記されても、そういう指導を研究する時間があるのか。現場の状況を踏まえ御検討いただきたい。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>「部活動での指導ガイドライン」等を踏まえて実施する取組内容及び文言を整理するとともに、科学的な根拠に基づいた指導の推進の手段として、「研修等を通して」を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（1）社会的ニーズに応じた高校、学科の在り方</p> <p>② 他機関との連携</p> <p><u>高校教育の質の向上を図り、生徒の豊かな学びを実現するため、地域、大学、企業等と連携した特色ある教育活動に取り組みます。</u></p> <p><u>また、地域、大学、企業等の多様な専門性や経験を有する外部人材との一層の連携・協働を図りながら、チームとしての学校運営（チーム学校）を推進します。</u></p> <p>ア・イ （略）</p> <p>ウ 地域や企業等との連携の在り方</p> <p>地域社会や企業、NPO等の教育資源や地域人材の更なる活用のため、「地域パートナーシップ会議」等を設置するとともに、学校の地域連携担当を核とした地域や企業、NPO等との一層の連携を推進します。</p> <p>（以下略）</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（1）社会的ニーズに応じた高校、学科の在り方</p> <p>② 他機関との連携</p> <p>ア・イ （略）</p> <p>ウ 地域や企業等との連携の在り方</p> <p>地域社会や企業、NPO等の教育資源や地域人材の更なる活用のため、「地域パートナーシップ会議」等を設置するとともに、学校の地域連携担当を核とした地域や企業、NPO等との一層の連携を<u>図り</u>、<u>「チーム学校」を推進</u>します。</p> <p>（以下略）</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>チーム学校というところは職業教育の観点で書かれているが、もう少し意識改革の観点で書いてもよいのではないか。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他機関との連携の趣旨を明確にするため、取組内容について整理し本文に追加します。</li> <li>チーム学校の趣旨を明確にするため、多様な専門性や経験を有する外部人材との連携の視点を追加します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p>① 学校配置の考え方</p> <p>② <u>適正な学校規模</u></p> <p>③ <u>地区別の高校配置の方向性</u></p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p>① 学校配置の考え方</p> <p>② <u>地区別の高校配置の方向性</u></p> <p>③ <u>適正な学校規模</u></p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方の構成を整理し、「②適正な学校規模」,「③地区別の高校配置の方向性」と記載順を変更する。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p><b>② 適正な学校規模</b></p> <p>（略）</p> <p>現状で適正規模を満たさない学校については、その学校が所在する地域における高校の在り方を検討した上で、学習環境や課外活動の充実を図ることを目的として再編を検討します。</p> <p>ただし、その検討に当たっては、地域の実情等を十分に考慮し、特例的な取扱いも含めて検討します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p><b>③ 適正な学校規模</b></p> <p>（略）</p> <p>現状で適正規模を満たさない学校については、その学校が所在する地域における高校の在り方を検討した上で、学習環境や課外活動の充実を図ることを目的として再編を検討します。</p> <p>ただし、その検討に当たっては、地域の実情を十分に考慮し、特例的な取扱いも含めて検討します。</p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正規模での再編についてのただし書きのメッセージが弱いのではないか。</li> <li>・何か知恵を出すことで地域に学校を残す再編の在り方を担保できるような形をお願いしたい。</li> </ul>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <p>検討に当たっての配慮事項の記載を「地域の実情等を十分に考慮し」と修正します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（4）魅力ある学校づくり</p> <p>① 特色ある取組</p> <p>本県においては、これまでも学校の再編や新たな学科の設置等を通して、特色ある学校づくりを推進してきました。</p> <p>学校の活力を維持していく上では、学校規模の観点からだけではなく、社会的要請や地域における県立高校への期待等を踏まえて、<u>生徒にとって魅力ある</u>高校の在り方を検討していく必要があります。</p> <p>これまでのような特色ある学校や学科の設置のほか、新しい学習形態の導入や<u>専門性の高い特徴的な教育を行う</u>学科に関しては<u>地域の実情や学びの継続性に配慮した上で</u>学級規模や募集方法等<u>の特例について</u>検討します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p><b>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</b></p> <p>（4）魅力ある学校づくり</p> <p>① 特色ある取組</p> <p>本県においては、これまでも学校の再編や新たな学科の設置等を通して、特色ある学校づくりを推進してきました。</p> <p>学校の活力を維持していく上では、学校規模の観点からだけではなく、社会的要請や地域における県立高校への期待等を踏まえて、高校の在り方を検討していく必要があります。</p> <p>これまでのような特色ある学校や学科の設置のほか、新しい学習形態の導入や<u>特定の</u>学科に関しては学級規模や募集方法等<u>の特例を設けることなどを検討します。</u></p>
<p>&lt;意見等の主旨&gt;</p> <p>一人一人に丁寧な対応をしていくため、少人数学級について御検討いただきたい。</p>	
<p>&lt;修正内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の在り方の検討においては、生徒にとって魅力のある高校づくりをするという視点が重要であり、その趣旨が伝わるよう「生徒にとって魅力ある高校の在り方を検討」と修正します。</li> <li>・学級規模の特例を検討する対象をより明確にするため、「専門性の高い特徴的な教育を行う学科に関して」と修正します。</li> <li>・留意事項として「地域の実情や学びの継続性に配慮した上で」と追加します。</li> </ul>	

修正後（答申案）	修正前（前回答申案）
<p data-bbox="235 260 537 288"><b>第5章 将来構想の推進</b></p> <p data-bbox="235 308 698 336"><b>1 家庭・地域・学校の協働の必要性</b></p> <p data-bbox="271 357 1120 627">本構想に掲げる高校教育改革を着実に推進するためには、家庭・地域・学校が協働し、地域の教育力を向上させることが重要です。家庭において生活習慣や自立心を育み、それを地域が支え、学校教育においては体系的な知識・技能の習得と集団で学ぶことにより社会性が育まれることから、家庭・地域とともにある学校づくりの一層の推進は、今後ますます重要になります。</p> <p data-bbox="271 647 1120 868">こうしたことから、家庭・地域・学校が適切にその役割を分担して、相互の連携を図り、高校教育を展開します。学校は家庭・地域との協働の場づくりのため、<u>「地域パートナーシップ会議」の設置を推進するとともに</u>、地域への学校施設の開放や学習機会の提供、情報発信などを積極的に行い、地域の拠点としての様々な活動に取り組んでいきます。</p>	<p data-bbox="1140 260 1442 288"><b>第5章 将来構想の推進</b></p> <p data-bbox="1140 308 1603 336"><b>1 家庭・地域・学校の協働の必要性</b></p> <p data-bbox="1176 357 2024 627">本構想に掲げる高校教育改革を着実に推進するためには、家庭・地域・学校が協働し、地域の教育力を向上させることが重要です。家庭において生活習慣や自立心を育み、それを地域が支え、学校教育においては体系的な知識・技能の習得と集団で学ぶことにより社会性が育まれることから、家庭・地域とともにある学校づくりの一層の推進は、今後ますます重要になります。</p> <p data-bbox="1176 647 2024 868">こうしたことから、家庭・地域・学校が適切にその役割を分担して、相互の連携を図り、高校教育を展開します。学校は、家庭・地域との協働の場づくりのため、地域への学校施設の開放や学習機会の提供、情報発信などを積極的に行い、地域の拠点としての様々な活動に取り組んでいきます。</p>
<p data-bbox="235 938 452 967"><b>&lt;意見等の主旨&gt;</b></p> <ul data-bbox="257 987 2016 1110" style="list-style-type: none"> <li>・住民から積極的に意見を出す機会を広げるような取組をお願いしたい。</li> <li>・情報発信について、例えば「地域パートナーシップなどを好例として」など具体的なものを入れつつ多様なやり方で情報発信を拡充するというニュアンスが伝わるように御検討いただきたい。</li> </ul>	
<p data-bbox="235 1133 398 1161"><b>&lt;修正内容&gt;</b></p> <p data-bbox="235 1182 1473 1211">学校と家庭・地域との協働の場づくりとして「地域パートナーシップ会議」の設置の推進を追加します。</p>	